

☆2015年度の活動報告

＜今年度の方針＞

1. 法人の理念に基づいて、職員一人ひとりが意見を出し合いながら、子どもを大切にしたい保育をめざす
 - ・職員会議で「ちいさいなかま」の読み合わせをし、保育実践や発達事例学ぶ。保育の悩みや大人の関わり等、その時に必要な資料となり短い時間だが日々の保育の振り返りになっている。
 - ・私立保育園連合会・経営懇研修・東社協・品川区主催・東京合研等外に出て研修をした。第47回「東京合研」では職員全員の参加に加え、非常勤職員1名の参加もあった。合研の主旨を伝え父母の会に呼び掛け「ミニバザー」を3回開き収益を参加費に…とよびかけた。残念ながら保護者の参加はなかったが収益の一部を非常勤職員の参加費や交通費・子どもの保育に充てる事ができた。又少数ではあるが保育・看護・全体の運営にも関わった。「成功に向け多くの人に関わっている事を知り、学び以上の貴重な体験をした」「平和であることの大切さ」等の感想があげられた。
 - ・経営懇話会の乳児研究会では、1年目の保育士が「子どもの自己主張」で1歳児の実践を提案した。子どもの姿をクラスで一緒に追いながら、成長や葛藤する様子を記録する大切さを学ぶいい機会となった。
 - ・第4回法人研修ではわらべうた・集団遊びの実践で法人職員の交流を計った。「子どもの人権を大切にしたい保育現場とは＝最善の利益」について、講師を招き学ぶ。大人同士も子どもと同じという視点で保育と一緒に考え合っていきたい、大人のいい関係が保育を変えていく、そこを大切にしたい、というねらいで研修をした事は良かった。
 - ・各部署でクラスの問題点や確認事項等を持ちすすめてきた。話し合いの内容は様式にまとめ、よりきめ細かな保育ができるようにしてきた。ミーティング時間が取れない中、話し合うポイントを絞りそれぞれの部署で工夫をしクラスで解決できない問題は職員会議で共有し合う事ができた。
 - ・たび重なる怪我に対し、保育園の検証の甘さのご指摘を受ける。職員が発達から見えるものを学び保護者にも、発達をふまえて保育をしている事を伝えながら同じ怪我や事故につながらないように、遊びを工夫したり、保育環境をその都度話し合っただけで変えたりしてきた。
 - ・緑の家保育園との交流を多くもてた。耐震行為があったこともあるが、「ふれあい動物園」「マミーとあそぼう」「焼き芋会」「おたのしみ会」や、年長同志の「ドッチボール対決」等卒園を前にふれあい名前を憶えて呼ぶ姿もあった。法人同士のつながりを見る事ができ、良かった。
 - ・園内研修で滝王子消防署の方より「救急対応」を学ぶ。「AED」「喉のつまりによる対処方法」等。特に「AED」による心肺蘇生研修では学んでも慌てたり、指導されたとおりに指示を出さない姿があり、何度も繰り返し学ぶ事の大切さを知った。

2. 安心して生活がおくれるよう、保育環境を整える。

＜施設・設備について＞

- ・全クラスに収納棚やロールカーテンを設置し保育室の整理整頓ができた。又鏡の設置もする。子ども達の遊びにも変化が出て、自分を見に行く姿や笑って反応する姿などが見られたり、死角をカバーする効果もあり設置して良かった。
- ・東門外側と掲示板の上に防犯カメラを設置し保育園のセキュリティを計る(全部で5基)
- ・0歳児・1歳児の天窓に、紫外線対策としてフィルムを貼った事で、午睡の環境がより整った反面建築上天窓やエアコン取り付け場所等の掃除が行き届かず改善できないのが課題。業者を入れる事も検討した

い。

- ・雨により園庭の砂が流され、コンクリートと地面の段差ができ転倒が多くなる。砂入れも年2回するが改善策となっていない。又園庭の鉄柵下(植え込み)部分や外側の塀の崩れ等安全面で気になる所があった。安全チェックを行い常に修繕、整備をしているが十分ではなく引き続き子どもたちが安全に遊べる環境をつくっていききたい。
- ・開園4年目を迎え、園舎に15基あるエアコンの清掃をお願いする。メンテナンスを定期的に行い子ども達により良い環境をつくっていききたい。
- ・開園当初から継続して、放射線線量の計測をしている。数値の変化があまりなくなりH27年度から年3回…4月・9月・12月の年3回の測にした。0.04~0.07の範囲の測定結果がでているが0.07が多い月は台風が影響した9月だった。

<保育>

- ・今年度のアレルギー児4名(牛乳・卵・ゴマ・納豆)、8月からは5名になり誤食がないよう給食室・クラスで確認し提供した。牛乳アレルギー児の代替としてMa-Meの提供をするはずだったが意味合いをり違い牛乳をあげたケースが1件あった。又アレルギー児ではなかったが卵の数値が高く家庭では完全に火が通った卵を食べていた子が保育園初の卵メニュー(千草焼)を食べ、一気に湿疹がでたケースが1件あった。
- ・12月より緑の家保育園とメニューの情報交換をし法人で同一メニューを検討し合った。しかし細かなところで違いがあり無塚敷く鶏卵に代わる食品として豆乳・米粉を使った献立を作成し3月迄に何食かメニューにおこした。
- ・個人情報大切さを常に心にとめ保育をしてきたが、3Fは休憩室兼事務室として使用している為、保育の話から子どもの話しになり易く常に一人ひとりが個人情報を扱っている事を意識する必要があった。

3. 地域情報誌や掲示板等をつかって行事のお誘いを積極的に呼びかけ交流を計った

- ・年3~4回のディサービス訪問をする。行事を通して遊びに来た地域の方々との交流を図った。
「敬老の日」は在園児祖父母、地域なの方々や、町会長に参加して頂き子どもたちとの交流を楽しんだ。
*地域からの参加者 5名 *園児の祖父母 6名
- ・地域活動として「行事のお誘い」「保育体験」「公園での保育体験」を企画したが例年より参加者が少なかった。

<組織・運営>

- ・2歳児担任が4月中旬に決まったものの5月末退職しその後8月に体制が整った。延長保育補助も8月に決まりそれまでのカバーが大変だった。近年人材確保が難しく早めに法人として採用の為の対策を検討し、4月の保育体制がスムーズにいくようにしたい。
- ・乳児組は副主任をリーダーにし、細かな問題や体制等保育を円滑にする為に力を発揮した。主任と一緒に大小様々な問題点をあげながら共有し、更に職員会議も役割も担いすすめられた。
- ・職員会議を18時~20時半から17時~19時半に変更した。長時間労働で健康被害が起こらない為、又会議に集中できる時間を考慮した。全体で話す内容は後半に回すなど工夫してすすめた。早く会議が終わる事で職員の気持ちが違ったようだった。

<保護者との連携>

- ・4月末に全体懇談会を持ち園長始め各部署から「1年間のねらい」を話し、年間4回の懇談会をもった。子どもの成長を確認し合ったり、悩みを共有し合える懇談会への参加率はどのクラスも高い。
- ・HPに各クラスの日々の写真や月の行事の様子を掲載したり、1年間を見通した冊子を作成した。一方掲示板の工夫が十分ではなかった。